名　　称	データ
西三河工業用水道事業安城浄水場〔① 安城浄水場，② 愛知県安城市，③ 32.9% 完成（昭和50年1月31日現在）〕	事業実施箇所：安城市福釜町道田地内　事業主体：愛知県　工事期間：昭和47年4月1日～55年3月31日　事業予算：61億6000万円　沈殿池：長 64×幅 30×深 3.5m 6池　配水池：41.6×22×3.7m 4池　管理棟：RC2階建 484m²　汚泥処理施設：1棟 300m²，フィルタープレス 22m²，6台　ジックナー：径 14m，深 4.5m・RC 2池　施工業者名：（土木事業）鹿島建設・（電気関係）富士電機・三菱電機・（ポンプ関係）久保田鉄工・（薬注関係）水道機工・（場内管関係）川崎製鉄
北伊勢4期工業用水道事業揖斐・長良川水管橋工事〔② 三重県桑名郡・桑名市，③ 100% 完成（昭和50年2月27日現在）〕	事業実施箇所：左岸／三重県桑名郡長島町大字千倉字大脇428地先・右岸／三重県桑名市大字下深谷部字柳ケ島179地先　事業主体：三重県企業庁　工事期間：昭和47年10月20日～49年5月31日　事業予算：10億5000万円　形状寸法：ランガー補剛形式水管橋（14スパン）・単純鋼管桁水管橋（2スパン）全長：1035m　工水管：φ1800mm×2条　上水管：φ450mm×1条　施工業者名：栗本鉄工
有明—大牟田工業用水道事業導・配水トンネル工事〔② 熊本県五名市・玉名郡岱明町・荒尾市，③ 100% 完成（昭和49年11月現在）〕	事業実施箇所：入口／熊本県五名市大字溝上字大谷・出口／熊本県荒尾市大字金山字狸谷　事業主体：熊本県・福岡県・大牟田市　工事期間：昭和47年10月16日～49年11月30日　事業予算：12億3000万円　断面：内径 1.8m　標準馬蹄型　勾配：1/1500 自然流下　導水トンネル：延長 3155.035m　配水トンネル：延長 4478.665m　施工業者名：（導水トンネル）1工区，l=2466.535m 三菱建設・（導配水トンネル）2工区，l=1973.5m，奥村組・（配水トンネル）3工区，l=3193.665m，三井建設

環境衛生

国民生活の基盤となる環境衛生施設のうち，廃棄物の処理施設は，公衆衛生の向上と生活環境の保全・改善を目的としているが，生活水準の向上，都市化の進展あるいは流通形態の変化に伴い，廃棄物の排出量の増大，質の多様化がもたらされ，重大な社会問題となっている．

廃棄物は，し尿，ゴミなど，主として人の日常生活に伴って「一般廃棄物」と，事業活動に伴って生じた燃えがら，汚泥，廃油，廃酸，廃アルカリ，廃プラスチック類などの「産業廃棄物」とに大別される．し尿処理については，公共下水道の普及が低いため，昭和47年度末現在，処理区域人口1億104万人のうち，水洗化人口はわずか24.7% にすぎない．このため，下水道の普及と，し尿の衛生処理が急務となっている．

名　　称	データ
国立公害研究所施設整備計画〔② 茨城県筑波郡，③ 約30% 完成（昭和50年1月現在）〕	事業実施箇所：茨城県筑波郡谷田部町大字館野　事業主体：建設省　工事期間：昭和48年5月～　事業予算：約180億円（未確定）　敷地面積：約30ha　施工業者名：東急建設・理研鉱業・西山電気ほか
東京都江東清掃工場建設工事〔② 東京都江東区，③ 100% 完成（昭和50年1月7日現在）〕	事業実施箇所：東京都江東区新砂3丁目地先 14号埋立地　事業主体：東京都　工事期間：昭和45年10月17日～49年3月15日　事業予算：87億5000万円（うち，土木39億1000万円）　敷地面積：9万6000m²　焼却能力：1800t/24h（300t/24h×6基）　施工業者名：清水建設（土木関係）
産業廃棄物処理対策事業（外郭護岸，中仕切堤，用地造成等）〔① 海面埋立処分施設整備事業，② 大阪府堺市，③ 53% 完成（昭和49年12月25日現在）〕	事業実施箇所：大阪府堺市築港新町3丁　事業主体：大阪府　工事期間：昭和45年4月1日～52年　事業予算：約223億円　① 護岸延長：4400m（港外側 2900m，港内側 1500m）港外側捨石護岸／地盤改良（床堀置換砂工法 820m，サンドコンパクションパイル工法 2020m）港内側鋼矢板セル護岸／地盤改良サンドドレーン工法 1500m，プレハブ鋼矢板セル工法 1500m　② 中仕切堤：延長 1100m，山土・土量 174万m³ 幅 40m，高さ OP+5.00m　③ 処理センター用地：面積6万5000m² 山土・土量 226万m³ 埋立高 OP+4.50m　施工業者名：熊谷組・不動建設・東洋建設ほか
大阪港北港廃棄物埋立処分地造成事業〔① 北港造成事業，② 大阪市，③ 45% 完成（昭和49年4月現在）〕	事業実施箇所：大阪市此花区地先公有水面　事業主体：大阪市　工事期間：昭和47年度～51年度　事業予算：340億円　外周護岸：5881m　中仕切堤：3965m　荷役設備・仮防波堤等：一式　処分地面積：209万m²　処分容量：2500万m³　受け入れ期間：昭和48～55年度　施工業者名：臨海土木・不動建設・五洋建設ほか
田子の浦港公害対策防止事業〔② 静岡県富士市，③ 100% 完成（昭和49年12月25日現在）〕	事業実施箇所：静岡県富士市字鈴川地先　事業主体：静岡県　工事期間：昭和46年4月21日～49年12月25日　事業予算：32億4000万円　汚泥処理量：131万m³　有害物質：PCB 平均 340ppm　硫化水素　浚渫方法：4000～5000HP ポンプ式浚渫船　送泥距離：約6km　沪過池：約30万m²　施工業者名：若築建設・中村組・石井組ほか

治水・治山・海岸

昭和49年度の**治水事業**は第四次治水事業5か年計画（昭和47～51年度）の第3年度目として河川・ダム・砂防にわたって予算総額約4959億円（河川 2982億円，ダム 966億円，砂防 996億円，機械等 15億円）で実施した．

河川については，最近激甚な災害の発生した河川の災害対策，近年の渇水に対処するための渇水対策および地方生活圏整備特定事業に関連した河川，ならびに特定プロジェクト，宅地開発事業等の他事業に関連した河川等の改修を重点的に実施する．また都市地域に係る小河川の改修については対象都市を拡大して事業の推進を図る．直轄河川事業は，石狩川，利根川，淀川等 124 河川の改修工事，中川，新町川等 14 河川の浄化対策事業，北上川上流（北上市），荒川下流（東京都）等48河川の河道整備事業を実施した．補助河川事業は，中小河川 638 河川，小規模河川 765 河川，局部改良1454 河川，高潮対策9地区，河道整備

概　　要　・　特　　色
西三河，衣浦臨海工業地帯，ならびに北部地域は従来地下水に依存していたが，産業の発展に伴い，工業用水の需要量が増加したため，揚水量は急激に減少しており，このまま放置すれば地盤沈下が苦慮される．このため，地下水低下の防止および産業基盤整備の面から西三河工業用水道事業を建設するものである． 水源は矢作ダムに求め，明治用水路で導水し，当浄水場で薬品処理した上，30万 m³/日 を川鉄はじめ107工場に給水するものである．
北伊勢臨海工業地帯は四日市の石油コンビナートを中心として近年目ざましい発展をとげており，それに伴い水需要も急増している．そこで本県では北伊勢工業用水道4期事業を実施し，既設工業用水給水能力 52万6000 m³/日 に加えるに 72万 m³/日 を給水せんとするものである． 水源は水資源開発公団施行の木曽川総合用水事業に求め，桑名郡長島町より本県専用事業となり，その導水管路計画の一環として道路公団と東名阪道路橋梁下部工を共同施行し，そこに水管橋を架設するものである．
本工事は熊本県，福岡県大牟田市の三者共同事業であり，水源は熊本県菊地川に建設される多目的ダムである竜門ダムに求め，五名市白石地内の農業用白石堰を利用して表流水 14万5000 m³/日 を取水し，導配水トンネルを経て有明地区および大牟田地区に給水するものである． トンネルの地質は花崗閃緑岩であり，導水トンネルでは断層を迂回し，河床部横断は風化層をさけてサイホンとした．また，配水トンネルは配水池兼用とした．

ゴミの市町村による収集量は，年間ほぼ 12% の割合で増加し，47 年度には排出量は1日9万1757 t に達し，1人1日 908 g に相当する．現在，おおむね，可燃性ゴミについては，ゴミ焼却処理施設で焼却処理することにより，安定化・減量化を図り，その焼却灰を埋立処分しており，不燃性ゴミについては，そのまま，または圧縮後，埋立処分している．

産業廃棄物については，その実態は必ずしも明らかでないが，46 年度において1日およそ 200万 t と推定されている．産業廃棄物の処理は，事業者の責務とされているが，全般的指導・監督は，各都道府県，保健所設置市，保健所によって行われている．

環境問題と土木工事のかかわりあいは深く，廃棄物と公害関係を中心に本年度より独立した章をもうけた．環境行政のどの範囲まで収録するかは今後の課題であるが，今後，地域環境計画，環境汚染防止対策，調査研究等，土木技術に関係の深いテーマをとりあげていきたいと考えている．

概　　要　・　特　　色
国立公害研究所は環境汚染対策の基盤となる環境科学研究の促進のためその中心的研究機関として設立され，自然科学的方法のみならず，社会的，経済的な側面にもおよぶ総合的な研究を行うとともに，これら研究や行政と密接な関連をもつ各種情報の提供を行うこととしている． 環境汚染による人体への影響，環境汚染現象等について大学等他の研究機関とともにプロジェクトを組織し，その指導的な役割を果し環境科学研究の効率的な推進等を図ることが期待されている．
ゴミによって埋立てた夢の島に，年間 10 cm 沈下する軟弱地盤を考慮して建設し，江東区を中心とする8区 120 万人分のゴミを焼却する．焼却によって発生する熱を利用して 3000 kW の自家発電を行い，また，隣接地に老人いこいの家，海上公園予定地には温水プールを含む室内体育館・熱帯植物園を建設中であり，完成の暁にはエネルギー供給の中心として都民にいこいの場を提供する役割を担う．
大阪府は堺泉北臨海工業地帯（面積 2300 ha）の一部（面積 280 ha）を産業廃棄物の埋立処分地とするため，現在，外郭護岸を実施している．なお，廃棄物を早期に受け入れるための諸施設（中仕切堤等）はすべて完成し，昭和 49 年2月から処分事業を開始している．当地区は海底面 −8 m より −21 m までシルト質粘土が堆積した軟弱地盤である．外郭護岸の工法についてはこのような地盤と海洋汚染防止とに対処して，捨石護岸は SCP 工法，セル護岸は急速施工を加味したプレハブ鋼矢板セル工法を実施しているところである．
近年急激に増加している廃棄物の最終処分は埋立によらなければならないが，大阪市では大阪港北港に水面埋立処分地を建設し，公害発生の防止・都市環境の保全に努めている．水面埋立であることから，特に二次公害の発生防止に留意している．48 年度から外周護岸について運輸省の港湾環境整備事業補助をうけている．
田子の浦港は泊地面積約 40万 m²，年間取扱貨物量 750万 t（昭和 48 年）の掘込港湾である．港に流入する工場排水は製紙工業を主体として約 200万 t/日，SS 濃度は 400〜500 ppm におよんでいた．このため，港内汚泥堆積量は約 120万 m³/年（90% 含水率）となった．本工事は硫化水素，PCB 等の除去の目的で公害防止事業のはしりとして実施されたものであり，汚泥浚渫はポンプ式浚渫船を使用し，硫化水素に対しては 消石灰，PCB に対しては砂浮過等の方法を用いて二次汚染に対処した．脱水汚泥は土砂と混合して公園，海岸空地，野積場等に埋込材として使用した．なお，大気，地下水海上での監視等はその後定められた「底質の処理，処分等に関する暫定指針」に準じた方法で実施した．

41 河川，河川浄化 48 河川，都市小河川 25 都市 104 河川，地盤沈下対策6地区，耐震対策1地区が実施された．

ダムについては，治水の安全度の向上と急増する水需要に対処するため直轄事業としては，六角川河口堰等4河川総合開発事業，利根川の流況調整河川事業，紀の川大滝ダム，九頭竜川真名川ダム等29の多目的ダムの建設事業を実施した．補助事業としては，石狩川美唄ダム，名取川樽水ダム等60の河川総合開発事業，十勝川佐幌ダム，岩木川遠部ダム等42の治水ダムの建設事業を実施した．

砂防については，近年の災害による土砂害に対処するため，土石流対策と地すべり対策を重点として推進した．直轄事業としては，利根川，最上川等 28 水系における砂防事業，豊牧地区（山形）等4地区の地すべり対策を実施した．補助事業としては，3728 渓流の砂防事業，および 582 か所の地すべり対策を実施した．

急傾斜地崩壊対策事業は事業費約 69 億円をもって 614 か所の崩壊防止工事を実施した．

海岸事業は海岸事業5か年計画（昭和45〜49年度）の最終年度として総事業費約630億円で海岸保全施設整備および海岸環境整備を実施した．

名　　称	デ　　ー　　タ
石狩川改修事業加茂川改修工事〔① 加茂川改修，② 北海道空知郡，③ 49% 完成（昭和 49 年 12 月 10 日現在）〕	事業実施箇所：北海道空知郡栗沢町　事業主体：北海道開発局石狩川開発建設部　工事期間：昭和 49 年 5 月 1 日～49 年 12 月 10 日　事業予算：16 億 3 000 万円　基盤処理：L=1 970 m　築堤：L=1 100 m，V=2 万 5 500 m³　橋梁：1 か所　樋門：1 か所　サイフォン：1 か所　施工業者名：草野作工／相互不動 JV・岸本／高橋／草別 JV・西松建設
石狩川改修事業奈江川改修工事〔① 奈江川改修，② 北海道空知郡，③ 74% 完成（昭和 49 年 12 月 15 日現在）〕	事業実施箇所：北海道空知郡砂川市奈井江町　事業主体：北海道開発局石狩川開発建設部　工事期間：昭和 49 年 4 月 28 日～49 年 12 月 25 日　事業予算：10 億 3 000 万円　樋門：5 か所　橋梁：1 か所　水路橋：1 か所　サイフォン：1 か所　築堤：L=2 000 m，V=16 万 m³　施工業者名：鴻池組／宮入組 JV・三鉱建設・函館ドックほか
元宿川水門建設工事〔② 山形県東置賜郡，③ 90% 完成（昭和 50 年 3 月 31 日現在）〕	事業実施箇所：山形県東置賜郡川西町　事業主体：建設省東北地方建設局　工事期間：昭和 47 年 3 月～51 年 3 月　事業予算：8 億円　流域面積：11.4 km²　計画高水流量：100 m³/sec　水門断面：45.4 m　ゲート：幅 19.5 m×高 9.05 m×2 門　施工業者名：堀川土建工業（本体）・石川島播磨重工（ゲート）
宮崎地区改修工事〔① 淞郷堰地区改修事業，② 山形県南陽市，川西町，③ 堰本体完成（昭和 49 年 11 月 30 日現在）〕	事業実施箇所：南陽市，川西町　事業主体：建設省東北地方建設局　工事期間：昭和 47 年 3 月～51 年　事業予算：37 億円　計画高水流量：2 600 m³/sec　堰断面：515 m（本体 109.4 m）　ゲート：幅 30.5 m×高 1.8 m×1 門＋幅 5.7 m×高 1.8 m×2 門　掘削：132 万 4 000 m³　捷水路　施工業者名：双葉建設協同企業（本体）・三井造船（ゲート）・駒井鉄工（管理橋）
三沢川水門改築工事〔① 三沢川水門，② 神奈川県川崎市多摩区上布田，③ 80% 完成（昭和 49 年 12 月 31 日現在）〕	事業実施箇所：神奈川県川崎市多摩区上布田　事業主体：建設省関東地方建設局京浜工事事務所　工事期間：昭和 48 年 8 月 28 日～50 年 3 月 30 日　事業予算：4 億 5 000 万円　計画高水流量：260 m³/sec　水門規模：幅 13 m／高さ 8 m　構造：基礎／直接基礎，本体／鉄筋コンクリート造，門扉／鋼製ローラーゲート　施工業者名：東急建設
谷田川排水機場新設工事〔② 群馬県邑楽郡板倉地先，③ 100% 完成（昭和 49 年 7 月現在）〕	事業実施箇所：群馬県邑楽郡板倉町　事業主体：建設省　工事期間：昭和 46 年 9 月～49 年 7 月　事業予算：13 億 2 000 万円　計画排水量：10 m³/sec×5 台＝50 m³/sec（うち 2 台 50 年度以降）　ポンプ形式：竪軸斜流吸入ヘッド型口径 2 000 m/min　操作方式：ディーゼル機関駆動機側および遠隔操作　機場：上屋鉄筋コンクリート造り 94.1 m²　樋管：断面高 3.95 m　幅 3.80 m　長 82.5 m　3 連，門扉／電動鋼製ローラーゲート　施工業者名：日本国土開発
田手川捷水路工事〔② 福岡県三潴郡・佐賀県神埼郡，③ 55% 完成（昭和 50 年 3 月 31 日現在）〕	事業実施箇所：福岡県三潴郡城島町小島・佐賀県神埼郡千代田町林慶　事業主体：建設省九州地方建設局　工事期間：昭和 44 年 11 月 5 日～55 年 3 月 31 日　事業予算：15 億 3 000 万円　計画高水流量：490 m³/sec　延長：800 m　標準河幅：68 m　計画高水位：T.P.＋5.150 m（半背水堤）　施工業者名：堤工業・柿原組・中野建設ほか
花ノ木堰改築工事〔② 福岡県直方市，③ 94% 完成（昭和 49 年 12 月 30 日現在）〕	事業実施箇所：福岡県直方市植木町花ノ木　事業主体：建設省九州地方建設局　工事期間：昭和 46 年 10 月 1 日～52 年 3 月 30 日　事業予算：9 億 5 000 万円（うち，土木予算 8 億 3 000 万円）　堰全長：253.9 m　可動部：62.25 m　固定部：191.65 m　門扉工：主ゲート／幅 25.0 m×高 4.7 m×2 門，調節ゲート／幅 5.0 m×高 5.2 m×1 門　用水樋管：1.5 m×1.5 m×24.5 m 2 連函渠　施工業者名：為広建設・三菱重工業・明電社
大谷川水門新設工事〔② 宮崎県宮崎市，③ 100% 完成（昭和 50 年 3 月 30 日現在）〕	事業実施箇所：宮崎県宮崎市大字小松字下川原　事業主体：建設省九州地方建設局　工事期間：昭和 47 年 9 月 30 日～50 年 3 月 30 日　事業予算：4 億 4 000 万円（うち，土木予算 2 億 7 000 万円）　水門幅：16.5 m×2 連，17.0 m×1 連　ゲート：幅 16.5 m×高 6.5 m×2 門，幅 17.0 m×高 9.414 m×1 門　施工業者名：アイサワ工業・田原製作所
矢玉川小規模河川改修工事〔① 矢玉川トンネル，② 山口県豊浦郡，③ 100% 完成（昭和 49 年 8 月 31 日現在）〕	事業実施箇所：山口県豊浦郡豊北町矢玉　事業主体：山口県　工事期間：昭和 47 年 12 月 1 日～49 年 8 月 31 日　事業予算：2 億 8 000 万円　計画高水流量：140 m³/sec　トンネル 110 m³/sec・現河川 30 m³/sec　施工延長：307 m（トンネル部分）　施工業者名：豊田建設 JV（花田組・下関工業・宮迫土木）
水無川中小河川改修事業〔① 水無川古籏放水路工事，② 熊本県八代市，③ 70% 完成（昭和 49 年 12 月 12 日現在）〕	事業実施箇所：熊本県八代市古籏　事業主体：熊本県　工事期間：昭和 43 年 9 月 15 日～53 年 3 月 31 日　事業予算：14 億 9 000 万円　計画高水流量：200 m³/sec（うち放水路 170 m³/sec，穴あきダム 30 m³/sec（本川））　延長：水路トンネル 820 m，開水路 290 m　トンネル形式：標準馬てい型（2 R，7.0 m）　施工業者名：西松建設・日本鉄塔工業・奥村組ほか
高知高潮対策事業〔② 高知市・土佐市・須崎市，③ 35% 完成（昭和 50 年 3 月 31 日現在）〕	事業実施箇所：高知県，高知市・土佐市・須崎市　事業主体：高知県　工事期間：昭和 45 年 12 月～　事業予算：240 億円（うち，49 年度まで，83 億 8 000 万円）　防潮堤：67.4 km（うち，49 年度まで 24.0 km）　水門：6 基（うち，49 年度まで 3 基）　施工業者名：三谷組・大旺建設・轟組ほか
いたち川河道整備事業〔② 富山県富山市，③ 16.7% 完成（昭和 50 年 3 月 31 日現在）〕	事業実施箇所：富山県富山市七軒町から清水町まで　事業主体：富山県　工事期間：昭和 48 年 6 月～　事業予算：12 億円　全体計画延長：3 655 m　河幅：20.6 m　河岸幅 6.6～6.0 m（樹木帯 3.1～2.5 m，遊歩道 2.0 m，樹木帯 1.5 m）　芝付：1 万 5 000 m²　施工業者名：星名組・岡部組
鴨川地盤沈下対策河川事業〔① 鴨川排水機場，② 埼玉県浦和市，③ 54% 完成（昭和 50 年 1 月 1 日現在）〕	事業実施箇所：埼玉県浦和市下大久保 1 386　事業主体：埼玉県　工事期間：昭和 46 年 4 月 1 日～　事業予算：24 億円　ポンプ形式：口径 2 000 mm 立軸斜流ポンプ　排水量：10 m³/sec×5 台＝50 m³/sec　計画吸水位：AP 5.20 m　計画吐出水位：AP 10.50 m　施工業者名：戸田建設（土木建築）・電業社（ポンプ，電機機器）

概　　要　・　特　　色

石狩川の4次支川である加茂川は，石狩平野の低湿地に広がる泥炭質の軟弱地盤を貫流する河川である．この地域は石狩川の背水区間であり，しばしば浸水被害が生じたが，軟弱地盤であるため基盤改良を行い地耐力の増強を図った上で築堤を行った．
昭和47年着工以来改良延長2300mのうち，約80％の改良を施工した．

石狩川の一次支川である奈江川は石狩川の背水影響を受けて砂川市奈井江町に浸水被害をもたらしている．本支川沿いには化学工場，火力発電所等があり，操業を継続しつつ工事を行うにあたっては，周到な施工計画・管理と多額の事業費を要する．本事業は昭和44年に着工し，主要工事をほぼ完了した．

最上川が通称松川から最上川に名が変わるところに河井山狭窄部がある．この直上流に元宿川が位置しているため本川洪水が逆流し，内水氾濫の常襲地帯であった．特に，昭和42年羽越豪雨で大きな被害を受けたため，従来の樋門を改築し水門＋セミパック方式にして，元宿川合流処理を行うものである．

その名を通称松川と呼ばれる最上川が米沢盆地に至って，勾配が少なくなるため，激しく乱流，蛇行し，当地区でその幅約800mにも達しているため常襲的な洪水氾濫地帯で，支川犬川，吉野川，屋代川にまで逆流していた．この治水上の問題解決と，地区の農業用水増量のため，昭和46年度より約1kmの捷水路と堰一基を合わせた淞鴬堰地区改修事業を発足させ，昭和49年度堰の完成と暫定通水を行うものである．

本工事は多摩川中流部に流入する右支川三沢川の旧樋門を改築し水門を設けるものである．三沢川は流域面積17km²を有し計画流量は260m³/sec(340m³/secのうち放水路で80m³/secカット）で多摩川合流点付近の樋門より流入する都市河川である．水門は三沢川改修計画に合わせた規模とするとともに，施工計画において現況流水を迂回させて放流する必要性から仮排水路を設けて河川の機能の維持を図り施工するものとした．また，水門設置点の堤防天端が神奈川と東京都を結ぶ主要道路の一部をなし交通量も多いところから，前面に仮締切堤を設け迂回路の併用とし，交通機能を確保するなど単なる水門工事以外の諸要素を含めた工事となったが支障もなくほぼ完成のはこびとなったものである．

本工事は，谷田川流域（101km²）の内水を排除し堪水災害を一掃することを目的として築造されたものである．谷田川は利根川と渡良瀬川の間を流れる低地河川でありこれまで3か所の機場（約38m³/sec）が設置されているが，この規模では不十分であるため新機場の計画がたてられた．工事は昭和46年に着手し，計画排水量50m³/secの機場と樋管，その他付帯的な諸工事を4か年の工期と約13億円を費し49年7月に竣工した．

田手川は佐賀県下の千代田，神崎，三田川，三根の各町内を南下する末改修河川で川幅も狭小で，その上蛇行しているためわずか70mm程度の雨量でも直に氾濫して堤防の決壊，または分岐している馬場川に逆流して人畜，家屋，田畑，その他全般的に被害を被った．このため，洪水の疎通能力の増大を図るべき蛇行地点のショートカット工事を計画し，昭和44年度から着手し，昭和50年3月末には特殊堤パラペットおよび鉛江水門ならびに排水施設を除き概成する．

本事業は遠賀川左支川犬鳴川0.43km付近にある固定堰を河川改修費および鉱害復旧費との合併施工により可動堰に改築するものである．この堰は福岡県遠賀郡ならびに鞍手郡にまたがる水田約400haのかん漑用水として徳川末期に改造されたものであるが，上流地区にわたる石炭産業の洗炭による汚濁水の微粉泥土が堆積し井堰の機能が低下したので犬鳴川の改修工事と合わせて旧井堰より下流60m付近に改築を計画し，昭和46年度に着工し昭和51年度に完成予定である．

大谷川水門は大淀川右岸7.6km付近に合流する支川大谷川の合流点に新設するものである．同支川の流域面積は20.5km²の中小河川で現在合流点には大塚水門，および大谷川水門の二つがあり，河道は著しく蛇行し，さらに流域内の貯留能力が小さく合流点付近の氾濫による被害が大きく被害額は莫大なものである．このため宮崎県において大谷川改修計画が策定され河道整備が進められている．改修計画では流末は半パック堤方式が採用され，通常パック堤に比べ余裕高で1m，天端幅で3m節約を計り背水部分の施設構造が本川堤の構造より低下しているので合流点に逆流防止の水門を設けるものである．

矢玉川は下関市の北部に位置し流域面積7.0km²の2級河川である．当地区は山に囲まれた漁村で左岸側は国道191号線および商店街右岸側は漁民の住宅が密集し，河道がせまいために毎年水害にみまわれていた．したがって洪水処理計画としては，分水路を建設し維持用水は現河道へ，洪水はトンネルによって日本海に直接流下させるものである．

水無川流域面積15.6km²で八代市を貫流し不知火海に流入する2級河川であるが，河積が小さいためしばしば氾濫している．昭和38年，39年，40年，46年，には八代市街地のほとんど全域で氾濫した．このため改修することとしたが水無川の現況は八代地区の市街地中央を貫流しているため現河道の拡幅による改修の実施は到底期待し得ないので，上流部でトンネル放水路を計画し，計画高水流量200m³/secのうち170m³/secを球磨川へ分流する計画を策定した．なお常時の流量は現河川を流下させ，市街地帯の河川浄化に供するものである．

高知高潮（河川事業）は昭和45年10号台風により大被害を受けたのにかんがみ，浦戸湾の潮位T.P. 3.50m 3.30m（浦ノ内湾）とし，さらに河川の自己流を考慮して防潮堤高（浦戸湾／T.P. 4.50m以上，浦ノ内湾／4.30m）を決定した．防潮についての考えは，防潮堤の築造によることとした．構造は表のり面は波返し型とし，基礎には鋼矢板（Ⅱ型長＝5.0m，t=10.5mm）を使用し，天端工はおもにアスファルトコンクリート等で，また裏のり面は網目にブロックを使用し，中は芝付で保護する構造とした．

本事業は，河岸の広さ（6.6～6.0m）を利用して河川の環境を整備し，都市における緑地として利用するものである．樹木は以前から生えている樹木は現状のままとし，幅3.1～2.5mの中に整理した．道路側の樹木は低かん木を幅1.5mの中に植えた（ツツジ・ヒバ）．
散策道は軟かい感じの道路とするように処理をした．なお以前からあった樹木は桜の木で，樹令は30～40年のものである．

鴨川は上尾，大宮，与野，浦和の各市に広がる流域面積63.9km²の重要な都市河川であるが，新大宮バイパスの開通，国鉄武蔵野線の建設等によって，近年，著しく都市化が進んでいる．元来，この地域は低湿地であるのに加えて地盤沈下が進行し，出水時の内水排除がますます困難となっている．そこで昭和46年度よりポンプ場の建設に着手し，49年度に10m³/secポンプ1台を稼動させた．さらに，52年度完成を目標に10m³/secポンプ4台の増設を計画中である．

名　　称	デ　　ー　　タ
石狩川水系大雪ダム〔① 大雪ダム，② 北海道上川郡，③ 97% 完成（昭和50年3月31日現在）〕	事業実施箇所：北海道上川郡上川町　事業主体：北海道開発庁　工事期間：昭和40年4月1日～50年10月31日　事業予算：約151億8000万円　形式：ロックフィル　堤高：86.5m　施工業者名：鹿島建設／大林組／清水建設 JV
利根川水系川治ダム〔① 川治ダム，② 栃木県塩谷郡，③ 23% 完成（昭和50年3月31日現在）〕	事業実施箇所：栃木県塩谷郡藤原町　事業主体：建設省　工事期間：昭和43年4月1日～56年3月31日　事業予算：約450億円　形式：コンクリート・アーチ式　堤高：140m　施工業者名：鹿島建設・西松建設
木曽川水系岩屋ダム〔① 岩屋ダム，② 岐阜県益田郡，③ 43% 完成（昭和50年3月31日現在）〕	事業実施箇所：岐阜県益田郡金山町　事業主体：水資源開発公団　工事期間：昭和42年4月1日～52年3月31日　事業予算：約345億円　形式：ロックフィル　堤高：127.5m　施工業者名：熊谷組
九頭竜川水系真名川ダム〔① 真名川ダム，② 福井県大野市，③ 61% 完成（昭和50年3月31日現在）〕	事業実施箇所：福井県大野市下若生子　事業主体：建設省　工事期間：昭和42年4月1日～52年3月31日　事業予算：約288億円　形式：コンクリート・アーチ式　堤高127.5m　施工業者名：前田建設工業
霧積川霧積治水ダム建設事業〔① 霧積ダム，② 群馬県碓氷郡，③ 71% 完成（昭和50年3月31日現在）〕	事業実施箇所：群馬県碓氷郡松井田町大字坂本　事業主体：群馬県　工事期間：昭和43年4月1日～51年3月31日　事業予算：36億5000万円　形式：重力式コンクリートダム　堤高：59.5m　堤体積：20万2500m³　総貯水容量：250万m³　有効貯水容量：210万m³　施工業者名：佐藤工業／佐田建設 JV
堅田川黒沢治水ダム建設事業〔① 黒沢ダム，② 大分県佐伯郡，③ 87% 完成（昭和50年3月31日現在）〕	事業実施箇所：大分県佐伯郡大字黒沢　事業主体：大分県　工事期間：昭和45年4月1日～51年3月31日　事業予算：23億3200万円　形式：重力式コンクリートダム　堤高：47.5m　堤体積：13万5429m³　総貯水容量：410万m³　有効貯水容量：373万m³　施工業者名：佐藤組
中元寺川総合開発事業〔① 陣屋ダム，② 福岡県田川郡，③ 83% 完成（昭和50年3月31日現在）〕	事業実施箇所：福岡県田川郡添田町大字中元寺　事業主体：福岡県　工事期間：昭和42年4月1日～51年3月31日　事業予算：34億2000万円　形式：重力式コンクリートダム　堤高：48.5m　堤体積：14万500m³　総貯水容量：265万m³　有効貯水容量：245万m³　施工業者名：奥村組
有田川総合開発事業〔① 竜門ダム，② 佐賀県 西松浦郡，③ 83% 完成（昭和50年3月31日現在）〕	事業実施箇所：佐賀県西松浦郡有田町大字大木字竜門　事業主体：佐賀県　工事期間：昭和43年4月1日～51年3月31日　事業予算：19億7900万円　形式：重力式コンクリートダム　堤高：42.2m　堤体積：7万2700m³　総貯水容量：235万m³　有効貯水容量：222万m³　施工業者名：松尾建設
直轄砂防事業〔① 梅花皮沢（かいらぎさわ）第1号ダム，② 山形県西置賜郡，③ 100% 完成（昭和49年12月1日現在）〕	事業実施箇所：山形県西置賜郡小国町　事業主体：建設省東北地方建設局　工事期間：昭和46年7月～49年12月　事業予算：2億2000万円　高さ：8m　長さ：6m　築立立積：8163m³　形式：重力式コンクリートダム　施工業者名：柿崎工務所
通常砂防事業補助〔① 古河良（ふくら）川護岸工，② 鹿児島県鹿児島郡，③ 17% 完成（昭和50年3月31日現在）〕	事業実施箇所：鹿児島県鹿児島郡桜島町古河良　事業主体：鹿児島県　工事期間：昭和49年9月～52年3月　事業予算：3億3000万円　護岸工：1030m　施工業者名：並木組
通常砂防事業補助〔① 西郷川砂防ダム，② 三重県熊野市，③ 100% 完成（昭和50年3月31日現在）〕	事業実施箇所：三重県熊野市木本町　事業主体：三重県　工事期間：昭和48年1月26日～50年3月25日　事業予算：5億円　高さ：23m　長さ：97m　築立立積：1万8000m³　形式：重力コンクリートダム　施工業者名：大豊建設
地すべり対策事業〔① 豊牧地すべり，② 山形県最上郡，③ 55% 完成（昭和50年1月1日現在）〕	事業実施箇所：山形県最上郡大蔵村字南山豊牧地先　事業主体：建設省東北地方建設局　工事期間：昭和37年4月1日～　事業予算：11億円　セミウエル工：12基　集水井工：33基　表面排水工：1万6791m　施工業者名：日本工営
急傾斜地崩壊対策事業〔① 湯田中地区急傾斜，② 長野県下高井郡山ノ内町，③ 54% 完成（昭和50年3月31日現在）〕	事業実施箇所：長野県下高井郡山ノ内町大字平穏町南　事業主体：長野県　工事期間：昭和47年1月5日～52年3月　事業予算：1億2000万円　擁壁工：183m　のり枠工：3342m²　施工業者名：平穏土建
直轄青森海岸海岸保全施設整備事業〔① 青森海岸，② 青森県青森市・津軽郡，③ 20% 完成（昭和50年3月31日現在）〕	事業実施箇所：青森県青森市，津軽郡平館村　事業主体：建設省東北地方建設局　工事期間：昭和37年4月1日～　事業予算：8億1000万円（49年予算）　49年度事業：離岸堤／6基，511.4m　堤防新設／208.7m　船揚場／3か所 251m　施工業者名：岩倉組・菱中興業・古久根建設
農林省玉名地区海岸保全事業〔① 玉名地区，② 熊本県玉名市・玉名郡，③ 91% 完成（昭和50年3月31日現在）〕	事業実施箇所：熊本県玉名市・玉名郡　事業主体：農林省　工事期間：昭和35年6月～52年3月　事業予算：39億5000万円　堤防天端高：6.00～7.00m　堤防形式：重力式　施工業者名：大成建設
香住漁港海岸保全事業〔② 兵庫県 城崎郡香住町，③ 50.8% 完成（昭和50年3月31日現在）〕	事業実施箇所：兵庫県城崎郡香住町下ノ浜一境地区　事業主体：兵庫県　工事期間：昭和35年4月～54年3月　事業予算：8億7000万円　離岸堤：7基　1050m 天立 D.L+1.00m　護岸：1380m D.L+5.00m　消波堤：450m　設計波高：H=3.7m H.W.L=0.7m　施工業者名：日本テトラポッド

概　　要　・　特　　色
本ダムは，石狩川の洪水調節，流水の正常な機能の維持と増進を図るとともに，新設される大雪発電所において最大 2万 kW の発電，旭川市に対する新規水道用水の補給を目的とした多目的ダムであり，昭和 50 年 10 月完成を目途に現在本体の盛立てを施工中である．
本ダムは川俣ダム，五十里ダムと合わせ，鬼怒川および利根川の洪水調節を行うとともに流水の正常な機能の維持と増進を図り，さらに鬼怒川沿岸の農地に対するかんがい用水の補給，宇都宮市に対する新規都市用水の供給を目的とした多目的ダムであり，現在転流工も終り本体掘削を鋭意施工中である．
本ダムは，木曽川の洪水調節，流水の正常な機能の維持と増進を図るとともに，中流部沿岸の農地に対するかんがい用水の補給，名古屋市を含む愛知・岐阜・三重県下の諸都市に対する水道用水の供給，および愛知県尾張地区，岐阜県中濃地区，三重県北伊勢地区に対する工業用水の供給を行い，さらに新設される馬瀬川第1・第2発電所において最大出力 35 万 2 000 kW の発電を目的とした多目的ダムであり，現在鋭意本体盛立を施工中である．
本ダムは九頭竜川の洪水調節，流水の正常な機能の維持と増進を図るとともに，新設される真名川発電所において最大出力1万 4 000 kW の発電を目的とした多目的ダムであり，現在鋭意コンクリート打設中である．
本ダムは，霧積川ダム地点における計画高水流量 360 m³/sec のうち 280 m³/sec の洪水調節，ならびに下流沿岸の既得用水の補給等の流水の正常な機能の維持と増進を図ることを目的とした治水ダムであり，昭和 43 年度より実施計画調査を行い，昭和 45 年度より建設事業に着工し，現在堤体コンクリートを概成し，昭和 50 年度竣工を目途に鋭意残工事を実施中である．
本ダムは，竪田川のダム地点における計画高水流量 420 m³/sec のうち 240 m³/sec の洪水調節，ならびに下流沿岸の既得用水の補給等の流水の正常な機能の維持と増進をはかることを目的とした治水ダムであり，昭和 43 年度より実施計画調査を行い昭和 45 年度より建設事業に着工，現在堤体コンクリートを概成し，昭和 50 年度竣工を目途に鋭意残工事を実施中である．
本ダムは，遠賀川水系中元寺川の洪水調節，下流既得用水の補給等の流水の正常な機能の維持と増進を図るとともに田川市，川崎町に対し日量 5 000 m³ の上水道用水の供給および中元寺川沿岸の工業団地に日量 2 万 5 000 m³ の工業用水の供給を目的とした多目的ダムであり，昭和 42 年度より実施計画調査を行い，昭和 43 年度より建設事業に着工し，現在堤体コンクリート打設を概成し，昭和 50 年度竣工を目途に鋭意残工事を実施中である．
本ダムは，有田川水系広瀬川の洪水調節，下流既得用水の補給等の流水の正常な機能の維持と増進を図るとともに伊万里市，西有田町に対し日量 2 万 3 000 m³ の上水道用水の供給を目的とした多目的ダムであり，昭和 43 年度より実施計画調査を行い，昭和 46 年度より建設事業に着手し，現在堤体コンクリート打設を概成し，昭和 50 年度竣工を目途に鋭意残工事を実施中である．
梅花皮沢は磐梯朝日国立公園の特別地域内で，周辺一帯がブナ原生林で自然景観にすぐれている所であり，工事により自然を損わないように，材料運搬道路の切盛により立木を損傷させないため，土砂を搬出して，種子吹付，筋芝を行い，ダムの施工はコンクリートが表面に露出するのを極度に少なくして，非越流部を土砂にて被覆し，ツタ類で緑化を行って自然との調和を図った．
桜島の北面に位置する古河良川流域は，昭和 47 年以降，たびかさなる桜島山の爆発降灰により下流古河良部落はもとより，高免町への土砂害の危険性が生じた．これらの緊急事態に対処するため，昭和 48 年度には上流に砂防ダムを築造し，昭和 49 年度からは3か年計画で導流堤を兼ねた護岸工を施工し，下流住民の安全と活火山の爆発に対する民生の安定を図ろうとするものである．
西郷川流域は日本でも最も降雨量の多い地域で土砂の流出も多い．特に昭和46年9月の集中豪雨では連続雨量が 1 000 mm を越し，この豪雨により熊野地区では土石流による大災害を被った． これら土砂害を防止し，下流熊野市の人家・人命の保全を目的として土石流対策の砂防ダムが施工されている．
豊牧地すべりは最上川水系銅山川中流の右岸東方約 2.5 km のところに位置し，南山地内の豊牧，沼の台，小坂野などの部落を含む面積 4 261 ha の区域である．地質は第3紀層の砂岩，泥岩の互層を基盤とし，その上に鮮新～更新世の軽石流層（シラス）がのっている．このシラス層は透水性がよく，降雨，融雪水を多量に第三紀層へ供給するために地すべり発生の原因となっているため，昭和 37 年度より地下水排除工を主体とした地すべり防止対策工事を行っている．
山ノ内町温泉郷といわれる湯田中地区は，千曲川支流夜間瀬川によって発達した河岸段丘の狭い崖の上，下部にわたって土地利用が進み，沖積層の崖斜面は脆弱であり梅雨期がけ崩れの頻発する時期である．当地区においても過去に数回の崩壊（がけ崩れ）が発生して住家，住民に被害を与えていたが，昭和 46 年度より急傾斜地崩壊対策事業に着手し約 70 戸の住民をがけ崩れ災害から防護しているものである．
青森海岸は津軽半島の陸奥湾に面する海岸で，冬期の季節風および台風時の波浪によって浸食され，年々汀線が後退している．このため昭和 37 年度から直轄事業として着手し，堤防新設を主体とする保全事業を実施してきた．昭和 45 年度以降5か年計画において，西田沢等背後地に人家の密集した主要地区の堤防を概成させるとともに，他の地区についても離岸堤を実施し，波浪ならびに浸食による被害を防止するものである．
玉名地区の背後地は熊本県の穀倉地帯である玉名平野の大部分を占めており，菊地川の排出土砂が有明海の潮流によって堆積し生成された沖積層の平野である．すなわち約 370 年前から営々として築造されてきた干拓地から成り立っており，防護面積 4 400 ha（うち，農地 3 608 ha），関係戸数 4 590 戸を包含している．当地区の要となる第一線堤防も約 75 年を経過し，しかも基礎地盤が有明海特有の軟弱地盤のため堤防および樋門の老朽がはなはだしい． このため，昭和 35 年度より直轄事業として着手し堤防補強，樋門改修等の実施を図り，昭和 51 年度をもって完了の予定である．
香住漁港海岸は但馬沿岸の中央に位置し日本海特有の冬期の激浪をまともに受け，海岸線の侵食により砂浜の後退や背後の人家への越波による被害が予想されるため，本事業を昭和 35 年度より着工し 49 年までに緊要な箇所は整備された． さらに万全を期するため，新たな計画に基づき離岸堤の補強嵩上げを施工中である．

名　　称	デ　　ー　　タ
高潮対策事業〔① 新砂水門建設工事，② 東京都江東区，③ 56% 完成（昭和 50 年 1 月 17 日現在）〕	事業実施箇所：東京都江東区新砂 3 丁目地先　事業主体：東京都　工事期間：昭和 46 年 10 月 13 日～52 年 3 月 31 日　事業予算：64 億 5 000 万円　基礎工：置換砂，サンドコンパクション工法による締固め　仮締切設置工：鋼管矢板二重壁締切工　仮締切内軟泥除去工　施工業者名：東亜建設工業・石川島播磨重工業

港湾・漁港・航路標識

昭和 49 年度の**港湾整備事業**は，第四次港湾整備 5 か年計画（昭和 46～50 年度）の第 4 年度目として，航路・防波堤・岸壁等の整備をはじめとする公共事業関係が 2 813 億円，上屋・荷役機械等の港湾機能施設整備事業について，368 億円の規模で実施された．また港湾における臨海部土地造成事業については，臨海工業用地および都市再開発等用地の造成が 2 618 億円の規模でもって進められた．

この 49 年度における港湾整備事業の特徴は，沈廃船の処理，港内海域の清掃および港湾外の一般海域の浮遊ゴミ油等の回収，清掃（海洋環境整備事業）が，従来からの廃棄物埋立護岸・ヘドロ浚渫（6. 環境衛生参照），海洋性廃棄物処理施設等の港湾環境あるいは港湾公害防止対策事業に加えられ，環境整備事業が一段と促進されたほか，来島海峡・備讃瀬戸等

名　　称	デ　　ー　　タ
釧路港西港地区整備事業〔① 釧路西港建設工事，② 釧路市，③ 45.5% 完成（昭和 49 年 12 月現在）〕	事業実施箇所：北海道釧路市富士町　事業主体：北海道開発局・釧路市　工事期間：昭和 44 年 12 月～55 年　事業予算：421 億 1 000 万円　対象船舶：4 万 D/W（最大）水深 −12.0　取扱貨物量：1 745 万 7 000 t（現港 778 万 2 000 t，西港 967 万 5 000 t）　外郭施設：3 640 m（東防波堤 1 120 m，南防波堤 2 520 m）　係留施設：−12.0 m 4 バース，−10.0 m 2 バース，−9.0 m 5 バース，−7.5 m 11 バース，−5.5 m 5 バース，物揚場 695 m　用地造成：164 万 m²　施工業者名：大成建設・鹿島建設・岩倉組土建ほか
苫小牧港フェリー埠頭建設事業〔② 北海道苫小牧市，③ 100% 完成（昭和 50 年 1 月 8 日現在）〕	事業実施箇所：苫小牧市入船町 1 丁目　事業主体：苫小牧港開発（株）　工事期間：昭和 48 年 7 月～50 年 2 月 28 日　事業予算：43 億 5 000 万円　岸壁：鋼管杭桟橋，水深 −8.5 m，長さ 205 m，2 バース　車輌用可動橋：鋼製上路式鋼床版橋，幅 11 m・12.5 m，長 26 m　旅客用可動橋：鋼製上路式鋼床版橋　駐車場：アスファルト舗装，4 万 6 688 m²　ターミナルビル：RC 3 階建，延 4 277 m²　歩道橋：鉄骨造，幅 1.8 m，延長 348 m　施工業者名：五洋建設・東亜建設・日本鋼管ほか
八戸港八太郎地区北防波堤築造工事〔② 青森県八戸市，③ 99% 完成（昭和 50 年 1 月 15 日現在）〕	事業実施箇所：青森県八戸市八太郎地区　事業主体：運輸省第二港湾建設局　工事期間：昭和 39 年 4 月～50 年 3 月　事業予算：100 億 2 000 万円　防波堤延長：3 400 m　防波堤構造：捨石・捨ブロック堤 600 m，函塊式混成堤 1 800 m，うち 1 250 m は，テトラポット被覆の複合断面　函塊総数：209 函　函塊製作法：寒中コンクリート養生に自動温度計使用　函塊据付：起重機船による．時期は春から夏（4～8 月）　施工業者名：若築建設・大都工業・臨海土木
秋田港外港地区岸壁（−13 m）工事〔② 秋田県秋田市，③ 25% 完成（昭和 49 年 12 月 31 日現在）〕	事業実施箇所：秋田県秋田市秋田港内　事業主体：運輸省第一港湾建設局　工事期間：昭和 49 年 4 月～55 年 3 月　事業予算：19 億 8 000 万円　岸壁：−13 m（5 万 D/W 級）2 バース　岸壁延長：1 バース 270 m×2 バース　構造：ケーソン式 1 バース，鋼矢板式 1 バース　岸壁天端高：+3.0 m　設計上載荷重：常時 3.0 t/m², 地震時 1.5 t/m²　設計震度：k_h=0.10, k_v=0.00　施工業者名：東亜建設工業
鹿島港ベルトコンベアー土砂運搬工事〔② 茨城県鹿島郡鹿島町・神栖町，③ 100% 完成（昭和 49 年 9 月 30 日現在）〕	事業実施箇所：茨城県鹿島郡鹿島港港内　事業主体：運輸省第二港湾建設局鹿島港工事事務所　工事期間：昭和 46 年 4 月 1 日～49 年 9 月 30 日　事業予算：57 億円（うち，18 億円はベルトコンベアー設置費を含む）　メーンベルトコンベアー設計条件：理論運搬量 2 400 m³/h，ベルト幅 1 200 mm，ベルト速度 300 m/min，トラス角度 30°，ベルト構造／スチールコード（安全率 7 以上），休止時最大風速 50 m/sec，運転時最大風速 15 m/sec　運搬土量 1 524 万 m³，仮置場面積 94 万 5 000 m²，土量 95 万～98 万 m³（収容能力），天端高 +14 m（底盤 +7 m），埋立地面積 160 万 m²，天端 +5 m　施工業者名：鹿島港土砂運搬工事 JV（青木建設／鹿島建設／熊谷組／大林組）
横浜港大黒防波堤建設工事〔① 横浜港大黒防波堤工事，② 神奈川県横浜市，③ 97% 完成（昭和 50 年 1 月 20 日現在）〕	事業実施箇所：横浜市鶴見区大黒町沖海面　事業主体：運輸省第二港湾建設局京浜港工事事務所　工事期間：昭和 43 年 5 月 1 日～50 年 3 月 31 日　事業予算：65 億 8 120 万円　天端高：パラペット +5.80 m，ケーソン据付 +2.50 m　水深：地盤面 −16～−18 m，ケーソン据付 −10（大型函）～−9 m（小型函）　地盤条件：大型函区は海底面（−18 m）より −60 m まで軟弱なシルト質粘土にて改良の要あり．以下砂および砂礫層　地盤条件：小型函区は海底面（−16 m）より −21～−25 m まで軟弱なシルト質粘土．以下砂礫および硬質シルト層　構造様式：小型函区 延長 1 014 m，床掘置換改良後ケーソン使用混成堤式　構造様式：大型函区 延長 600 m，自然圧密により改良後広幅ケーソン，中詰海水による軽量化の混成堤式　施工業者名：東亜建設工業（マウンド築造，ケーソン据付中詰）・間組（ケーソン製作）・大都工業（上部工）
福井新港防波堤工事〔① 福井港防波堤工事・北防波堤工事，② 福井県坂井郡，③ 28% 完成（昭和 49 年 12 月 31 日現在）〕	事業実施箇所：福井県坂井郡三国町　事業主体：運輸省第一港湾建設局　工事期間：昭和 46 年 4 月～55 年 3 月　事業予算：144 億 5 000 万円　防波堤延長：南防波堤 2 400 m，北防波堤 550 m　設計波高：$H_{1/3}$ 6.5～8.0 m　天端高：+4.5～+7.5 m　堤体幅：4.5～19.0 m　施工業者名：東洋建設・五洋建設・東亜建設工業
三河港神野埠頭建設工事〔② 愛知県豊橋市，③ 29% 完成（昭和 50 年 3 月 31 日現在）〕	事業実施箇所：愛知県豊橋市神野新田　事業主体：運輸省第五港湾建設局・愛知県　工事期間：昭和 43 年 4 月～55 年 3 月　事業予算：223 億 8 000 万円　岸壁：−12 m 2 バース 500 m，−10 m 4 バース 740 m，−7.5 m 7 バース 910 m，−4.5～−5.5 m 9 バース 630 m　物揚場：−2.5～−4.0 m 510 m　埋立用地：146 万 m²　緑地：15 万 m²　施工業者名：佐伯建設・臨海土木・神野建設ほか